

イノベーションの実現を加速する 社会還元プロジェクトについて

平成19年4月24日
総合科学技術会議
有識者議員

イノベーションの実現を加速する社会還元プロジェクトの推進スキーム

1. IT等各分野の研究開発については、昨年度より、**分野別推進戦略**を推進中。
2. **イノベーションを国民一人一人が実感**するためには、これに加えて**実証研究**による社会システムとしての実効性の検証(暮らし方、働き方など社会の変わる姿を国民に提示)等が必要。

実証研究段階に達するいくつかの要素技術を融合して、国が主体的に進めていく**先駆的なモデルとしてプロジェクト**を創出。これにより、実証研究を通して成果の**社会還元を加速**。

現在(2007年)

2025年

イノベーションを実感できる**社会還元加速プロジェクト**の推進

2008~

5年以内に社会システムとしての実効性を検証するための実証研究を開始

社会還元加速プロジェクト例 (検討中)

- 災害情報通信システム
- バイオマス資源の総合利活用
-

201X~

➢ 新たな社会還元加速プロジェクト

20XX~

➢ 新たな社会還元加速プロジェクト

新技術の社会への還元

新技術の社会への還元

新技術の社会への還元

システム改革を伴う実証

実証段階に到達する技術

引き続き重点的に推進

基礎 基盤的技術など

新技術の社会への還元

第3期科学技術基本計画に基づく
分野別推進戦略の推進

戦略重点科学技術

(国家基幹技術を含む)

大学等での研究 萌芽的技術

私たちが目指す
2025年の日本の姿

生涯健康な社会

安全・安心な社会

多様な人生を送れる社会

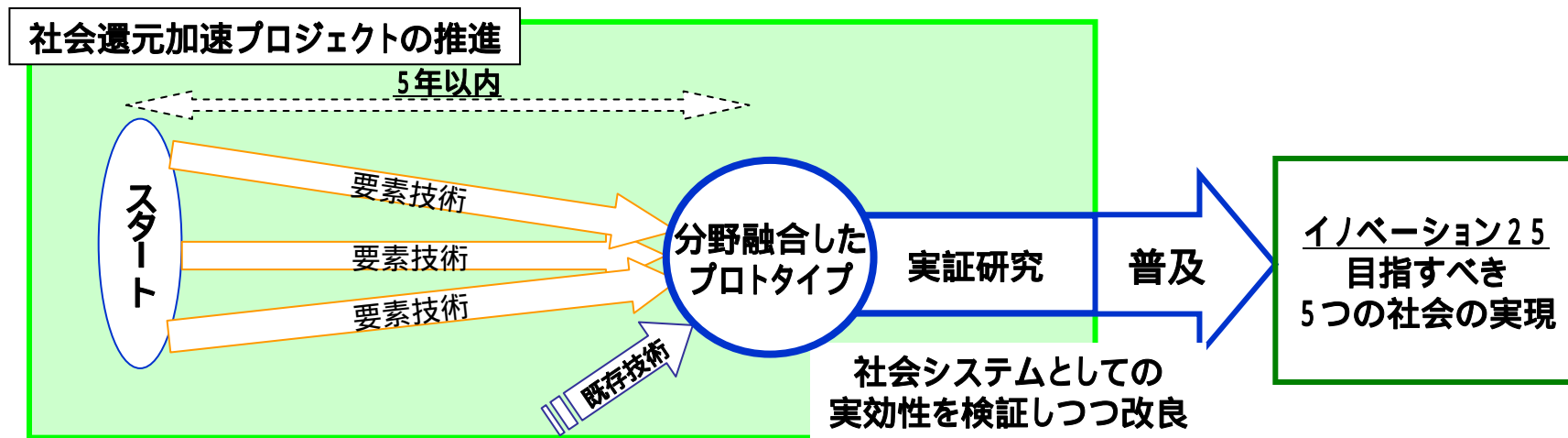
世界的課題
解決に貢献する社会

世界に開かれた社会

社会還元加速プロジェクトの考え方と特徴

基本的考え方

国が主体的に進めていく**先駆的なモデルとしてのプロジェクト**
(5年以内に実証研究を開始)を創出



社会還元加速プロジェクトの特徴

・異分野技術融合

異分野技術を融合したプロジェクト

・官民協力・府省融合

官民協力、異業種連携、府省融合の仕組みを強化したプロジェクト

(予算配分権や、人事権などの権限を持ったプロジェクトリーダーを設置等)

・システム改革

研究成果を迅速にイノベーションとして実現し、社会に還元するために、規制改革、特区の設定、政府調達などのシステム改革を包含しているプロジェクト

・技術の社会システムとしての実証

5年以内に社会システムとしての実効性を検証するための実証研究を開始

2008年度に開始する「社会還元加速プロジェクト」例

「イノベーション25」に掲げている社会を実現していくために以下のプロジェクトを推進

1. 生涯健康な社会

・ものづくり技術、ナノテクノロジー、ライフサイエンスの融合によって、失われた人体機能を補助・再生する医療の実現

2. 安全・安心な社会

・IT、社会基盤技術の融合によって、国民一人一人が「いつでも」、「どこでも」必要な情報を一元的に受け取ることが可能な災害情報通信システムの実現

・IT、社会基盤技術の融合によって、交通事故の激減のみならず、交通流・物流の効率化による環境負荷(CO₂排出)低減、生産性向上にも寄与する高度交通システムの実現

3. 多様な人生を送れる社会

・ライフサイエンス、工学、ITの融合によって、高齢者・有病者・障害者への在宅医療・介護の支援の実現

4. 世界的課題解決に貢献する社会

・環境・エネルギー、ナノテクノロジー、ライフサイエンスの融合によって、食糧問題への影響を回避し、環境・エネルギー問題に貢献するバイオマス資源の総合利活用の実現

5. 世界に開かれた社会

・IT、人文科学の融合によって、言語の壁を乗り越える音声コミュニケーション技術の実現

注)他のテーマも含め更に検討を進める